京城日報
八日夕刊（朝夕刊併せて六頁）

○東清線讓渡か

露國遞信次官ラストルゴフ氏は七日哈爾賓より長春に來着長春驛を視察したる上即日出發大連に向ひたるが哈爾賓より滿鐵公署員同行して共に大連に赴けり聞く所に據ればラストルゴフ氏來訪の用件は表面鐵道沿線視察の爲と稱するも其の實東清鐵道南部線を日本に讓渡すべき用務を帶び居れるものならんと（長春特電）

○英軍大に捷つ

四日發ヘーグ元帥の公報に曰く我軍は今ワー、ハムレットの南方よりランゲマルクの南方イーブル、スタデン鐵道線路に至る八哩餘の戰線に於て攻擊を行ひ完全なる成功を得たり、即ち我軍は目標地點全部を占領し極めて重要なる陣地を奪取し且つ三千名の捕虜を獲たり、獨兵捕虜の語る處に據れば我軍（英軍）の攻擊は敵がポリゴン森林よりゾンネベングに至る我が戰線に對して五個師團の兵を以て行はんとせる攻擊に先立つ事數分間前に行はれ我が一齊砲火は敵集團の上に注がれ敵は三回の逆襲を企てたるも悉く不結果に終りたり（倫敦電報）

○肉彈相觸る白兵戰

英軍總司令部附路透通信員の四日發電に曰く四日朝よりフランダース地方にて猛烈なる新攻擊開始されたり我軍の目標は大メニン山脈に據れる敵陣地に在り敵は我軍が攻勢に轉ずるを豫期せしも何れの點より攻擊を開始すべきかに就て判斷をなし得ざりし如く狼狽して後備部隊を續々第一線に展開せしめたり其中には最近露國戰線より移されたる二個師團の兵を交り居れり獨軍は今や其防禦陣地を棄て野外戰に移るの已むなきに至り戰闘は益々單純化せられつゝあり即ち戰闘は肉彈相觸る白兵戰となり化學的戰闘減少しつゝあればなり（倫敦電報）

○マルヌ以來の大捷

四日英軍のなせるメニン路の戰闘はマルヌ大戰以來の大捷利なること證明せられつゝあり此の戰闘に依りて英軍はメニン路を完全に越へ勇敢に進擊したり然も英軍の示せる豪勇は眞に未曾有なり（倫敦電報）

○英の對獨報復

路透社の聞知する所に據れば英國は獨逸の飛行機襲擊に對する報復手段を執る事に決せりと（紐育電報）

○タシケント形勢一層險惡

タシケント及びサマルカンドの形勢一層險惡となり勞兵會地方委員會は討伐軍出征を聞き同盟罷業を宣言せり政府は戰爭狀態に入るを布告せり（露都電報）

○獨宰相の傲語　議會大委員會演說

獨逸宰相ミハエリス氏は九月二十八日議會大委員會に於て演說を試み獨逸對敵各戰線の極めて良好なる事を詳述したる後獨逸國內及び同盟國間の一致團結頗る鞏固なること並に中立國との親善關係益々濃厚にして獨逸は中立國の

▲苦難に同情し 必要なる物資を供給しつゝある狀を述べ更に一轉して佛蘭西伊太利兩國物資の不足財政の窮乏に困憊せることを誇張的に吹聽し又潛水艇の效果重大なることを推賞したる後敵の各國當局者が獨逸內部の分裂を豫想し居るは全然謬見に囚はれつゝある爲めなりと斷じ次に

▲米國の戰闘力 は何等怖るゝに足らざること、露國は今や經濟的危機に瀕し混亂の狀態に陷れる事等を說き羅馬法王に對する回答中に平和條件細目を明示せざりし理由として詳解的演說を試み『目下の狀況は獨逸側のみより條件を示すは徒に

▲事態を紛糾 せしむるのみにして何等の效なく且つ獨逸の利益を害するものなり、若し其れ我が獨逸にして條件の細目を明示せんか必らずや敵國は謂はん、これ獨逸の疲弊し來れる唯一の徵候なり』と說き獨逸は目下の所斷じて平和條件を示さず」と述べ最後にツイメルマン氏の羅馬法王に送れる

▲回答文を批難 し『是れ明に獨逸の內政干涉なり獨逸國民は却つてこれが爲めに上下一致結束を堅ふして反對すべし』と結論せり（ベルン發共同電）

◆久保滿鐵京城管理局長の著任（右）久保局長（左）出迎へたる横井技師（八日朝南大門驛にて）

○米國飛行機二萬臺建造

米國陸軍當局發表、最近建造權限を附與されたる各種飛行機二萬臺は今現に建造中なり（華盛頓電報）

○日置氏來鮮　九日朝入京の豫定

日置益氏は日本石油會社長內藤久寬氏と共に八日朝着の高麗丸にて釜山に來り東萊に赴きたるが八日夜行列車にて京城に向ひ一泊の上滿洲各地を經て哈爾賓、北京、漢口等を視察の上青島より歸朝すべき筈なり（釜山特電）

○堀內中將通過

陸軍中將堀內文次郎氏は八日朝釜山着午前六時四十分出帆の連絡船壹岐丸にて歸東の途に就きたり（釜山特電）

○千代田生命社長

千代田生命保險會社長門野重九郎氏は九日朝釜山着同日釜山視察の上夜行列車にて北行の途に就きたるが支那に向ふ筈なり（釜山特電）

○遣露將校通過

露國へ派遣の陸軍騎兵中佐栗原宰滿、步兵中佐小磯國治、輜重兵少佐服部英男、砲兵少佐山田卯三男、同黑須辰之助五氏は八日朝著の高麗丸にて釜山着午前十時三十分發列車にて北行せり（釜山特電）

●總督總監臨席

長谷川總督及び山縣政務總監は古屋高橋兩少將齋藤大島兩副官遠藤神田兩秘書官及び藤波通譯官を隨へ八日正午昌德宮に至り李王殿下御主催の午餐會に臨み午後二時半歸府せり

●昌德宮午餐會

李王殿下には八日正午昌德宮に於て午餐宴を催ふされ此程總督府に於て開會中なりし司法官會議參列者一同並に長谷川總督及び山縣政務總監を御招待午餐を倶にせられたり

●軍司令官出發

軍司令官松川中將は山本參謀千輪副官其他を從へ北鮮地方に於ける秋季演習及び各部隊巡視の爲め八日朝八時四十分出張せり

●堀內中將入京

七日朝入京したる堀內中將は南大門驛に出迎へたる高橋武官の案內にて直ちに總督邸に長谷川總督を訪問敬意を表し夫れより山縣政務總監邸に入り少憩の上漢江橋渡橋式に列し午後は美術品製作所、昌德宮等を觀察せる後五時三十分總督邸に於ける晚餐會に臨み七時五十分南大門驛發汽車にて豫定の如く內地に向へり

●九月の朝鮮貿易

貿易額累計一億二千七百六十萬餘圓
著目すべき當月の輸移入貿易の現象

■出入貿易品價

九月の貿易は輸移出品價六百四十七萬一千餘圓、輸移入品價七百九十萬七千餘圓、合計一千四百三十七萬八千餘圓にして前年同月に比するに輸移出二百八萬九千餘圓、輸移入五十萬三千餘圓を增加せり次に一月以降累計貿易額は輸移出五千七百六十萬一千餘圓、輸移入七千一萬五千餘圓、合計一億二千七百六十萬七千餘圓にして一千二百四十一萬四千餘圓の入超を示し之を前年同期に比する時は輸移出二千二百十三萬六千餘圓を孰れも增進し入超額に於て三百十三萬九千餘圓の減少なりとす

■輸移出重要品

更に輸移出入重要品に就き前年同月と對比し其の消長を觀察するに大宗たる米は前月來內地市況軟調を持續せしに反し鮮內市場は出廻薄の爲め軟化の裡にも比較的強合の氣配を示せしが、而かも輸出は約一萬石を增加し同時に、露國仕向も亦た前年と伯仲の間に在りしを以て支那向に三千餘石を減少せしも仍ほ總額に於て六千餘石六十六萬五千餘圓を增加し、大豆は引續き內地の需用旺盛なりしに因り好況を呈し、結果二十九萬餘圓を增加し、又礦產品は相變らず

▲礦物の出廻 に連れ移出荷盛にして銅塊に三十萬餘圓、黑鉛重石鑛に十三萬一千餘圓、黑鉛に十二萬餘圓を孰れも增進せしのみならず其の他魚類、生牛及び海藻等に於ても各勘からざる增進を示せり、之に反し人參は輸出時期の關係に因り八十七萬八千餘圓を減少し牛皮は內地に於ける露國向製靴の輸出好況なりしと米國の輸出禁止等の影響に因り市況活氣を帶び來りしも折惡しく各地とも在荷薄の爲め出荷捗々しからずして十三萬一千餘圓を減じ其他皮革製品の輸出引續き不振にして十九萬九千餘圓の減少を見しも結局前記の如く輸移出總額に於て著しき增進を示せり（以下朝刊に續く）

●古海總長出發

古海警務總長は大橋高級副官國友警務課長三浦岡本兩警視筋瀨植松兩警部隨伴忠北慶北の事務巡閱の爲め八日午前八時三十分南大門驛發列車にて出張せしが來る十三日歸任の筈なりと

●釜尾少將出張

總督附武官釜尾海軍少將は六日附を以て軍事視察の爲め平安北道義州、龍巖浦へ出張を命ぜられたり近く出發の筈なり

●堤鮮銀司事歸期

露都に出張中なりし鮮銀司事堤嘉三氏は八日夜若くば九日中に歸京の筈

●俞參與官出張

慶尙北道參與官俞星濬氏は[illegible]一般狀況視察の爲め八日午前八時三十分南大門驛發往復十五日間の豫定にて出發せり

●久保理事著京

新任滿鐵京管局長理事久保要藏氏は夫人令息同伴八日午前八時南大門驛著列車にて入京驛前の舍宅に入りしが龍山及び南大門兩驛には横井前局長以下滿鐵局員外官民の出迎へ多かりき

●亥角氏出發期

新任鳥取縣內務部長亥角仲藏氏は十日午前八時三十分南大門發にて赴任の筈

▲久保理事動靜

八日朝入京著任せる久保滿鐵京城管理局長は午前中横井實郎氏同道總督府に到り長谷川總督山縣政務總監外各局長官並に主要當局を歷訪し著任の挨拶をなし午後は京城管理局に出社し階上特別室に主要職員を集め就任に就て一場の挨拶をなしたり

●調理課長兼任

臨時土地調查局調理課長工藤壯平氏本府總務課長へ榮轉の結果調理課長は和田總務課長の兼任となれり

●三井技師歸任

滿洲地方視察中なりし總督府農務課技師三井榮長氏は七日夜南大門驛著歸任

●曾禰秘書役歸京

夫人の令妹逝去のため西の宮に滯留中なりし鮮銀秘書役子爵曾禰安輔氏は八日午後九時南大門驛著列車にて歸京す

◉滿鐵朝鮮線の經營

新設の業務研究所は重要な機關

新任京城管理局長　久保理事談

滿鐵朝鮮線の經營に當るべき滿鐵理事京城管理局長久保要藏氏の著任を八日朝京義線の特別車中に迎ふ、氏は例の如く莞爾として語る、今回新らしく

▲京城管理局長 の任に就く事となつたが、菲才子の如きは到底其の器でない、心より自己の力の足らざる事を虞れてゐる、著任に際し大方にお願ひ申すのは將來何分の御援助と御同情を忝くしたいと云ふ事である、鮮鐵今後の經營方針は統一當時と聊も異らぬ、總督府の意を體し大陸に於ける吾が鐵道の進展改良を期し產業の開發を助長して行くと云ふ事に歸する、朝鮮線は將來新設改良共に頗る多事と稱して宜しい、そこで局務の圓滑な統一進捗を圖るに局員の一致と云ふ事は實に極めて必要な事である、一體滿鐵鮮鐵と云ふ如く從來相對立してゐた兩個の機關が合併すると其職員の[illegible]に

▲幾分の障礙 を見る樣の事がないとも云へない、殊に京管の如き膨大な機關になると其の一絲亂れぬ統一と云ふ事は、さう容易のもので無いかも知れぬ、然し鮮滿鐵道統一は會社の利益のためとか、從事員待遇改善から來たとか云ふのでなく、全く時勢の進運に伴ひ、帝國の大陸政策上必要なりと云ふ所謂國家的見地より成立つた事業であるから、其の精神を了解すれば全員一致奮勵して各其の職分に努むべく又た努めねばならぬ事と思ふ、此の點に於いても職員の精勵を希望したいのである、予は今後一應各方面に挨拶を濟せばすぐ鮮鐵全線の巡視を行ないたいと思つてゐる、何分鮮鐵一千餘哩中實際的に視察したのは國澤理事長に隨伴し先々月湖南線を往復したのに留まり、又事務の方は

▲鐵道統一 の際、兩回程來鮮して若干事に關與しただけで、甚だ鮮鐵の智識は乏しいのです、奉天釜山間の直通列車運轉は十一月一日より實行の事となつてゐるが、同時に安東の乘換乘繼時間を從來より若干短縮する考へだから從つて急行列車の鮮滿發著時刻は多少の改正を見るであらう、又安東縣新義州間の相對せる從來の驛給設備は同日以降極めて簡略に行ふ積りである、尙ほ先月末を以て京管横井三本稻垣三氏の轉任したも新設の滿鐵業務研究所は會社でも夙に之れを創始する筈であつたが色んな關係から今日まで延引してゐた、其の事務は獨り鐵道ばかりでなく、滿鐵の經營に係る鑛業にも電氣にも海運にも地方行政にも總て關與し綜合的に永久的な業務改正方法を研究するのである、從つて其の組織は逐次大をなすであらう、素より各部局課でも從來の如く相當の研究調查を積んで行くが分割的に行つた調查は怎うも永遠の計に於て遺憾の點なきに非ず、故に業務研究所は此の短所を補ふべき重要の一機關です、尤も研究所の

▲研究事項 が直ちに實行されると云ふ譯には參らぬけれど少なくも基礎となり重要な材料となるであらう、而して差し向き研究所では鮮滿鐵道統一後彼此短補上の事項を考查すべく爲めに京管の三君の專任及び本社より工場長營業課長運轉課長等が研究所兼務と定まり、互いに深い經驗を披瀝協商する筈で横井三本稻垣三氏の將來は少なからず會社でも期待してゐる次第である

◉東拓二次披露

東拓支店設備並に川上理事披露の東拓第二次張宴は八日午後七時より朝鮮ホテルに開宴したるが有力官吏百餘名來會す

◉鮮銀の張宴

美濃部鮮銀總裁は八日午後六時より花月に於て入京中の司法官招待宴を開きたるが銀行よりは重役以下主要幹部列席す

人事消息

▲金崎金平氏（日韓印刷支配人）七日朝東上
▲稗尾孫藏氏（朝鮮及滿洲社長）七日午前安東へ向け出發
▲石川縣視察團一行廿二名 七日午後釜山へ
▲京城高等女學校百二名 七日午後成歡へ
▲大邱農林學校職員生徒三十名 八日午前金泉へ出發
▲吉澤東拓技師 八日午前東京へ
▲有田寬次郎氏（慶鐵經理部長）歸省中の處七日夜入港連絡船壹岐丸にて上陸同夜大邱へ歸社（釜山）

左甚五郎　第五十席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

大津屋仙右衞門は、下女に對ひ仙『お鍋、おとら、お前方に斷つて置くがの、決して此の座敷へ入つちやア叶けねいよ、粗忽でもすると後で取返しが付かねい、決して此の座敷へ入つては叶けねいよ』『ハイ〳〵畏りました』皆な行つてしまつた、跡は大風の吹止んだやう、何であらうと守信は座敷へ出て來て見ると、床の間があつて違ひ棚があり、障子も洵に清らかでございます、閑氣な座敷が空いて居ると、見ると床の間に墨汁でございます、筆刷毛等が並んで居ります、今持込んだものと見えて金屛風が一ツ正面に立てゞざいます、何うも結構な屛風、ア今持つて來たのは是だ、大分墨汁がある、是に筆も刷毛もある誰か來て描かうといふ約束でもしてあるものと見える、大層立派な物だと、守信先生之を見るとゾク〳〵描いて見たくなつた、長い間田舍を歩いたが此の位な屛風に一度も未だ邂逅したことは無い、腕を揮つて是へ描いたら嘸ぞ快い心地だらうと、其の道に熱心の人でございますから、頻りに畫を描きたくなつたので、帳場へスタコラ出て來て守『御亭主、大分お繁昌だいやうで』仙右衞門ジロリと見て『仙『ホーラ俺の考へ通りやつて來た、實は今晚の宿錢が無いから何うしてくれとか、何うしてくれとか、そんなことだらうと思つた……』お鍋や、臺所を然ら嬉しちやら叶かねわじやアねわか、何ういふものだ、お二階のお客樣が煙くつて仕方がねわ、コレ〳〵門へ何誰かお出でになつた、早く行つて御用を聽きなさい、おとらや、二階でお客樣が呼で居らつしやるじやアねわか、早く返事をしねわか、何うも口の重い女で困つたものだ』と頻りに喋舌つて居りました、守信の云ふことも耳にかけない樣子だから、守信も驚いた守『御主人、御亭主……』仙『是は旦那樣何か御用で』守『他事ではないが今奥へ御持込になつた屛風、鳥渡拜見をしたが、イヤ何うも結好な屛風、實に感き入つたが、あれは御主人が今度お求めになつた品かい』仙『左樣で』仙右衞門が、自分の好みまする道に話しを持込れたから、ガラリと調子が變つた、人間は其の人の好む道によつて取入れていふことを、昔楠正成公が云はれたといふが、酒の好きな人には酒の話し、思ふ壺へ持つてゆけば必ず悦るもので仙右衞門ニコ〳〵笑ひ出して仙『まア旦那樣此方へ入らつしやいまし、コレ〳〵敷物を持つて來て旦那樣へお上げ申せ、まア旦那樣是へ入らつしやい、早く煙草盆を持つて來て上げな、早くお茶を上げろ、何ういふものだ』打つて替つた取扱ひでございます、仙『へエ旦那樣何で、御覽になりましたか』守『拜見して實は驚き入つた、結構なお屛風で』仙『へエ有難う存じます、私は別に道樂といつてございませんがあゝいふものを拵へますのが何より樂みで永年心掛けましてやう〳〵今度出來しました、旦那樣の前で卑しいお話しを申上げるやうですが、拵へりましてな』守『然うであらう、何うも結好な屛風、筆刷毛が床の間にあつたが何誰かあの屛風へ描く人が極つて居るのか』仙『へエ此の宿に雲山といふ名高い先生があります、手前も永年御懇意にいたして居りますから、お話しを致した處が、宜し〳〵俺が行つて描いて遣ると仰被つて下さいまして明日手前方へ御出になつて雲山先生が描て下さるので旦那樣お急ぎでございませんければ御覽なすつて居らしやつては何でございます』守信是を聞いて守『ハヽア成程、雲山が當宿に居る、然うか……と亭主、物は相談だがあの位の結構な屛風を雲山に汚させるのは如何にも惜しいものだ、然らいふと人の事を貶すやうで宜くない話しだが、雲山も二三年前までは能く描いたが、一二年以來大分年を老つた故か、筆力が衰へたやうに思はれる、雲山に汚させるのは惜いものだ、私に描かしては何だ』仙右衞門呆れて守信の顏をジ〳〵見て居ります。

十月十日　九星

舊八月廿五日　乙酉　本命　三碧　東鬼　文引

●信徒の希望を齎して

＝光瑞師に面晤のため旅順へ＝

西本願寺特使 足利瑞義氏談

西本願寺法主光瑞師の還俗を諫止する目的を以つて旅順に派遣の途にある西本願寺特使足利瑞義氏が車中に訪ふ曰く「西本願寺前法主還俗說に就いて世間では色々と噂して居る樣だが、まだそんな域には達して居ない、今度吾々

◆一行三名が旅順に向つて出發したのも自分達からいへば單に久しく光瑞師にも面晤の機を得なかつたから言はゞ御伺ひに出る樣なものである勿論彼方へ行けば光瑞師の意思なり事情なり事件の內容諸般の事を承り度いと思つて居る位で前法主光瑞師の還俗說に關してはまだ何等世間へ發表すべき材料も無ければ又其の時機でもあるまいと思ふが而し余個人として聞知する所に由れば光瑞師が本年五月頃新嘉坡から

◆僧籍返還に關する手續書類を發せられたと言ふ事は事實で是れは前遣特使の水野氏が携帶して歸國したけれども一般信徒門末の切望延いては動搖と言ふ樣な事もあるから未だ其の機に非ずと爲して水野特使は其の提出を見合はして居る樣な譯で本山內局では何等正式の牒を受て居ない譯である……由來光瑞師今回の

◆決心は餘程確固たるものがあるらしく又師の性格として一度決心されたが最後斷行されると言ふ成行に進みはせぬかと心配して居る、光瑞師の主張として目下の佛教は徒らに因襲形式に捉はれて僧侶と云ふものが一個の職業の如く變化し之に由つて以つて生活の途パンを得る手段とする如き觀を呈して居る斯かる宗の現狀を以つて宗門は因襲を脫せよ形式を去れと叫ぶと云ふ事は如何にも無理の樣である此に於て乎師は

◆其理想こし主義とする所に向つて驀進する事を妨げられる而巳ならず其の事業の進展上因襲形式をも是とする舊派と之を脫去せんとする各自との衝突は到底免れ難い結果を齎らす次第となる、光瑞師が本山の監事法主の職に在られた時代各々が六甲の墅に退いて學校を經營し專ら其の講師として教示する樣に成つてからも相互の軋轢が絶えなかつた折柄役人の失敗に基因する本山財政上の

◆一大破綻を惹起するに至つたので所謂硬派の攻撃に期せずして光瑞師一派の身邊が累ふ事となつたのである。山來快々として樂まざる光瑞師は遂に職を放擲して愈々放浪の生活に入られる樣に成つた、そして師は自分が本山に留まらずとも統一者は他に在る事だし意見を異にする自分の爲めに却つて信徒門末の統一を缺いては相濟まぬ然として南國に赴き何の放浪逸池なものぞと云はれる事に至つたのである……之れが光瑞師今回の決心に至る論據でもあり又道程でもあらう、然し光瑞師の如き

◆高遠なる理想こ人格の人を失ふと言ふ事は甚だ遺憾な事で果して師が去られた後信徒門末の統一が出來るか否かと云ふ事に疑問で無ければならぬ而かも光瑞師は到る所信徒を集めて其信仰の爲めに大いに說かれて居る事でもあり且つ今後とても信仰を擲つと云ふのではない而巳ならず飽く迄自己の主義理想及び信仰の爲めに奮闘すると明言して居られる樣な有樣だから僧籍迄も

◆返還する必要はあるまい言はゞ僧籍返還届を出すと云ふ樣な事は所謂一種の形式に過ぎないから此際光瑞師の意思の翻轉は信徒門末の齊しく切望して居る所である本月始め本山に於て評議會を開き又全國信徒門末より委員三名を選びて本月末迄に光瑞師を訪問し歸山を勸める樣な次第で吾々一行が調停に努力して居る樣な事と相成る……三名中一名は此の委員である、いづれ光瑞師の意思を伺ひ歸山の上何分の發表を見る事だらう」——と多くを語らず其れより氏は初來の時より朝鮮の山容大いに改まりし事を語り伏見大阪間淀川沿線今回の水害を憾み然して

◆鮮人の修養備足らざるを憂へ大いに之が敎化間に入らむとする時汽車は南大門驛に到着した氏等一行は八日夜北行列車にて旅順に向ふべく歸路は大連より海路歸國すべしと

●文展の出品

三千七百餘點

文展は七日出品の搬入を終りたるが其總數日本畫二千二百〇四點、西洋畫一千二百七十一點、彫刻一百二點、合計三千七百七十九點にして內ち米國人及び露國人の出品あり(東京特電)

□皇后宮行啓

學習院女學部へ

皇后陛下には八日午前八時卅分正親町權典侍御陪乘大森皇后宮大夫以下供奉し學習院女學部に行啓あらせられ授業御巡覽あり正午御機嫌麗はしく御還啓遊ばされたり(東京特電)

◆高女生徒の修學旅行

京城高等女學校では七日及び八日の兩日に亙り全校生徒の修學旅行を擧行した、時宛も秋色山野を染めて朝露冷たく旅行には好適の時候、四年生百餘名は職員七名に引率せられて七日朝南大門發車旗に向け出發し瑞氣山、牡丹臺、浮碧樓、乙密臺の勝景古蹟を探り汽車にて寺洞なる鑛業所を見學し一泊の上八日夕歸京した、三年生百名は成歡に於ける古戰場稷山の砂金採取狀況等を見學の爲め又二年生及び一年生三百三十餘名は水原華山森林の狀況、西湖の風光、模範場其他名勝古蹟を探究すべく八日朝輕裝して南大門驛を旅立つた(寫眞は七日朝南大門驛出發の光景)

堰止工事

●淀川の堤防

大阪府に於ては大塚堤防の堰止工事を開始し杭二千五百本を打込み土俵十五萬俵を埋設したり(大阪特電)

●國務大臣 大道演說

被害地に於て民心の復興に資すべく後藤內相、仲小路農相等大道演說を試みんとす(東京特電)

●賣國奴

大津にて逮捕

前年當時大津市肥茂孝五郎(三十)は水雷艇の秘密機械を外國人に賣らんとせしこと發覺し神戶署の手に捕へられたり同人は水兵上りの惡漢にして之れが首魁は舞鶴海兵團現役の准士官某なりとの說あり(大阪特電)

●露鐵道從事員 同盟罷業中止

露國の鐵道從事員同盟罷業は事實とならざりしもの〻如し(上海特電)

●六百六十回

空巣を襲ふ

京城仁寺洞百八十六番地農業植木□□(二三)は本年四月十六日より窃盜稼を初め合鍵八個と人夫一名を連れ九月末迄に京城市中にて六百五十九回の窃盜を働きたる所を此の程鍾路警察署の手に逮捕されたり

▲嚴重取調べ の結果櫻井町本町濱方にて衣類雜品卅點(卅九圓餘)外鮮人宅約二十戶內地人八軒は初音町淺野豐三郎方にて時計外十二點(百七十四圓餘)外數個所被害見積價格一千三百八十圓餘を窃取したるものにて其の都度行商人の風を裝ひ連れの擔軍に背負はせて自宅に持ち込み悉く各所の質屋に入質しゐたり被害戶數の判明したるもの〻みにて三十三戶なるも其他は全く不明の由同人は

▲晝間の空巣 を覘ひ專門にて夜間は決して稼がず殊に錠前を施しある家を附け目として合鍵を以て開き若し合鍵の適用出來ざれば錠前を捻ぢ切る手段にて同人を逮捕と同時に贓品の發見押收に努めし結果署內には數十戶の質屋より押收したる衣類雜品炊事道具等堆高く山と積まれて恰かも古物屋の奇觀を呈したりと取調べの末身柄は八日檢事局へ送られたり

●兵士武裝の儘河中に飛び込む

阪神線神崎川鐵橋上の出來事

七日午後八時四十分阪神電車の下り電車が大和田と佃停留場との中間神崎川鐵橋に差蒐りし時西詰より步兵第八聯隊の兵士十八名渡り來りしに遇ひ兵士等は橋の側避所に避けたる者もありしが其一部は逃場を失ひ武裝のま〻河中に飛込み水野一等卒は溺死し外に數名負傷したり(大阪特電)

●初氷

總督府總務部に達したる報告に依れば咸南長津郡東下面院洞里附近にては九月二十日より氣溫俄かに下降し翌朝室外に於て厚さ二分の結氷を見たりと是れ朝鮮に於ける本年の初氷ならんと

●文樂一座人氣

乘込みは九日

安東縣にて目下興行中の豐竹古靱太夫其他の文樂一座はいよ〳〵九日午後七時三十分著にて乘込み十日より壽館に於て開演の事に確定したるが一座の顏觸れは竹本德太夫、鶴澤清友、豐竹長太夫、豐竹新吉、竹本朝右太夫、鶴澤清市、豐竹い太夫、野澤八造、竹本静太夫、鶴澤德太郎、鶴澤芝之助、竹本鑛太夫、野澤吉彌等にて何れも文樂座に於ける花形揃ひの事とて花柳界其他の人氣好く素晴らしい前景氣なるが初日は吉彌のために龍鳳連、鐵太夫のために梅鶯會、德太郎のために鶴松會及び鶴松會、龍山連の總聽あり、札幌ビール會社は興行中場所の一部分を買ひ切りて人氣を添へ、料理屋組合及び各券番藝妓連は總出にて一座の乘込みを華々しく出迎ひ、初日より連夜總聽する由鶴澤小莊は一行出迎のため安東縣まで赴きたるが當地師匠連一同は途中まで出迎ふべしと

天氣豫報(八日午後六時より九日午後六時迄)

晴れ一時曇り

●怒濤の月こ ●●●● 讀者割引訂正

連鎖劇として壽座に上場喝采を博しつ〻ある本紙連載小說『怒濤の月』は京城日報讀者割引優待を爲しつ〻あるが八日より入場料割引券各等二十錢均一とあるは各等二十錢割引と訂正す

演藝案內

本町五丁目 稻荷座

新派喜劇改正美團一行 毎日午後五時開幕 每日特り替題

▲一番 □ 光 全六幕

▲二番 二丁 豆腐 全一幕

▲入場料大競爭特等の外金十五錢均一

有樂館

東京小林商會滿鮮一手代理店 米國ユニヴァーサル會社特約 ○日活演藝部直營 活動寫眞常設館 電話(階上)五九七番(階下)二〇五番

▲十日限 ▲今十月四日より公開の秋季特別大興行 ▲實寫ユニヴァーサル週報第四十五號 ▲喜劇 ▲米國バイスン社作 滑稽素人探偵 全二卷 ○東京小林商會特作東京新派聯合 ○復讐美談浄瑠璃坂 全四卷 ▲米國ユニヴァーサル會社世界的神秘連續大寫眞 △第二『電話の聲』 全十五編三十卷の內第三編第四編 上場

櫻井町 大正館 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 電話八七三 十月五日より又々特別大提供

▲實寫 ▲佛國パテー會社 ▲滑稽活劇「共倒れ」 ○新派悲劇「戀と意地」全四卷 ○第六『レッドサークル』全廿八卷の內第十一、十二編四卷上場 ○舊劇紀州騷動信田の狐鬼の園中 全四卷

黃金館 京城黃金町一丁目 電話二六三七・二六六 天然色活動寫眞株式會社京城一手代理店

△五日より秋季特別大興行特に旬金普通 ▲大阪每日新聞フィルム通信二報 ▲天活會社秘蔵の大寫眞源氏物語六編三略虎之卷 ▲史劇『牛若と辨慶』(全三卷) ▲伊國パスカリ會社大名作天活會社特別輸入 ▲帝王？曲馬師？『空中王』天然色

京城明治町 浪花館 電話二六〇 十月五日より開演 三遊亭圓左大一座來る

急告 內地暴風雨 水害の慘狀 ◎今朝到着 本夜より差加へ映寫す 八日より 大正館

商況

債券現物特電

八日出來値 東拓債 五分利 京城鐵道 朝鮮銀行 東京鐵道 七二、五五、一四一、一七一、八〇、二二九、〇〇〇〇〇

公債直取引

八日出來値 五分利 九七、三〇

深川正米特電

八日現在 九六、三〇

東京期米特電

八日前場 一五、七九、一六、〇六、六三

大阪三品特電

八日前場 十二月限 付 二四九 二五 二三三 〇〇〇

大阪期米特電

八日前場 二四、九、九五 二五、二二、四、〇五 二五、二、一、〇〇 二三、八、九、五

下關期米特電

八日前場(時後場) 二三、三、一九

雜報

●銀價更に低落

七日入電の倫敦銀塊相場は四十六片三分の一にて前日より更に四分の一方低落せり

●三品更に下押

一時棉高に上向きし三品も人氣萎靡の際の買反動として土曜日は稍下押せしが休日明の今前場は各期下押せしも利目なく三品當限二十四日九十五錢先限三十八圓九十五錢

米棉四十五錢高

十錢と共に一段安

龍レー七圓九值に落込みたり

●正米漸く落付

連日昂騰を續けて殆ど天井知らずの觀ありし地場正米も日本人糯米(?)並に仁川其他の地方より買付けし鮮人側共に過日來仁川其他に買ひ求めし仕切の相當の伏數に達し昨今漸く一服せし形勢なるも見込み付くると共に買氣減殺され本年の如き七八十錢方の突飛を報ずるなど一般の人氣が勤もすれば上値に走らんとする形勢なるも兎に角新米も出廻り始め、京城商況は日本人糯米(?)は此の邊天井ならんと思推せられつ〻あり

●苛性曹達昂騰

米國の禁出氣構へに漸騰步調を辿りつ〻ありし苛性曹達は今回愈々無特許禁出品目中に追加されたるが最近の本邦年需要は二萬噸中內地生產額は僅かに七千噸に過ぎずして約七割は其の供給を米國に仰ぎ居たる事とて一般工業界は恐慌を來し內地も騰せる趣にて一面米國に對して絕對禁出の方針を緩むるに於ては前途何處迄昂騰するや謀り難き形勢にありと

一割方昂

●木炭依然不廻

木炭は其後引續いて平壤鎭南浦方面の山地より産出に買進むもの多く爲めに當地の如きは前金渡しの豫約品さへ遲延勝なり昨今廻着は日に五六百俵內外より時に千俵近かくに達する事あるも此內には素人筋の思惑買附品も相當含まれ居れば新炭業者は常に品不足に苦しみつ〻あり乾つて相場は騰勢を示しつ〻あり

南大門の廻穀

仁川玄米三六八叺 仁川玄米八六叺 仁川玄米四五叺 仁川玄米三六三叺 仁三玄米一四一叺 平澤白米二七叺 ...

釜山穀物(七日)

▲正米(八十錢) 高本邦大阪定期米は小保合の折柄昨夜場より又々反發の氣勢となり昨夜止は二十三錢四十錢にて打止たり當市場買氣

▲期近强硬

市場零聞

▲保合下遊る

仁川期米

▲八日前場(小鈍し)

五節四十二錢六

四節二十四錢

三十錢の入電

以上の割高

二百五十丁

寄付き七錢と一步跳れたるも

大阪前寄二十三圓三十六錢

一錢高に

更に二十圓八十五

錢の高値を示し仁川に於ける

空前の高値

仁川米豆取引所

八日の十二月限

中限の附替

大阪の不勢に頓著

十九錢の新高値を

今前場十九圓五

仁川米豆取引所仲買人 主任 西川幸治郎 電話一五八番 長一五九番 自宅 七一〇番 仲買店

仁川米豆取引所 大五仲買店 店主 猪飼政太郎 電話長九一三番 自宅六〇一番

仁川港 仲買店

期米 仲買人 曾我商店

擴張御披露 相生 京城南米倉町(元和樂園) 電話九〇九番

明治町三丁目 周易 介石堂 岡村介石

至急謹告 仁川 糸岐商店

問屋 伊勢助 化粧品石鹸 ハコ 大阪東區南久寶寺町三丁目

關西デー番ヨク効ク 月經 流經新藥レスノリン 常盤藥院

大金 無茶苦茶に暴騰し

京城壽町 壽座 電話五七八番

京都博覽會褒狀受領 水の替る水枕 流動水枕 京都市 大崎商會

祝開橋式 印章ゴム 版木彫刻 名刺印刷 京城本町一丁目 千代田號

入合延商店 大阪堂島米穀取引所仲買人

釜山商店案內

長岡商店 內外雜貨卸問屋

洋酒 罐詰 卸商 釜山長手通 あづまや商店

卸問屋 洋菓子洋酒 ミトヤ商店 釜山幸町

內外雜貨 冬物全部揃荷 近藤商店 釜山本町三丁目

雜貨卸問屋 明治屋本店

米穀調製器 收穫用器具 竹製消火器 朝鮮勸農商會

京城日報
九日朝刊（朝夕刊併せて六頁）
第三版
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

支那漫遊

蘇峯生

京城を發す

九月二十四日午輪の月光を頭上に頂き、滿地の鈴蟲、轡蟲の聲に送られ、鵜飼居を出立し候。北行車中、非常の雜沓、代議士諸君も少からず。一睡直ちに定州に至る。

予が數年來繰り返したる如く、朝鮮の大なる將來、多望なる將來、有望なる將來は、實に鑛業にあり。今や三井、三菱、兼二浦に據り、久原氏鎭南浦に據り、前者に製鐵所あり、後者に製錬所あり、互ひに犄角の勢をなしつゝあり。其他三井、古川、安川、藤田、大倉の諸豪富何れも指を朝鮮に染めつゝあり。未開鑛山經營の如きは、寧ろ我に取りて一時の損にして、多年の得たらんも、未だ知る可らず。要は鑛山の努力の如何のみ。松由常次郎氏の設計に成る水道を開鑿して、經濟開運に、六千町步の水田を… 快事業を見物す可く誘はれたれども、豫定の日程ありて、之れに應ずる能はざるを、遺憾としたり。鑛業に次では、農業也。出して又た水產也、朝鮮豈に永久しく貧弱郷にして止まん哉。

鴨綠江の大鐵橋

新義州にて憩ひ下車し、此れより安東縣の方の人力車に乘り、鴨綠江の鐵橋を渡り候。汽車にては見物が思ふ樣にならざれば也。

予が三十九年初夏支那漫遊の節は、京義線は未だ一等も二等もなく、全くの軍用車なりき。四十年來遊の節は、恰も江心に橋柱を築き上げつゝありし也。今や延長三千九十八呎の長鐵橋は、龍の如く大陸と、半島とを接續す。中央は汽車線路にして、兩側は人、及び諸車を通す可し。而して中央に於て開閉機あり、船舶の上下交通を便にす。橋半の欄干に倚りて望めば、滿洲統軍亭は、阿那の丘上にあり。而して安東の市街家屋は、半は丘陵を擁し、半は水涯に在り。只だ此の一水の爲めに、其の兩岸の山水、人物、即ち天然も、人も、別樣の感あり。然も只だ此の一橋の爲に、此の別樣なる天然と、人とを打て、一丸と做さずんばあらず。嗚呼此の鐵橋や、千萬無量の意義ありと云ふ可き矣。

（大正六年九月廿六日朝奉天にて）

世界の實勢と國民の覺醒（五）

（於朝鮮教育研究會主催講演會）

文學博士 建部遯吾氏講演

扨て學者は我々に對し、社會なるものには二大階級の存在する事を教へる。即ち一は指導階級にして他の一は被導階級である。社會學者の此の研究は、蓋し東洋の教は少なくも此の二階級から成立つと大分接近し來るを覺ゆる。東洋に於ては、君子道を學べば則ち人を愛し小人之を知れば則ち使易しと申す言葉があるが、君子とは富貴の人、小人とは取るに足らぬ輩なりとするは後世の解釋で、此の語の眞意義たるや君子とは政治家即ち統御者であり、小人とは被治者たる人民を指したものであるらしい。そこで君子は即ち指導階級に該り、小人は被導階級に該つて近世の學說に極めて造作無く當箝まるのである。我邦は建國以來上に一天萬乘の天子を戴き、吾々人民は臣民と稱し以て今日に至つたのであるが、人民は即ち臣と民とから成立つて居る。臣は詣り指導階級にして民は被導階級になるけれども、併し之はお前は指導階級である、お前は被導階級であると云ふ風に人爲的の區別を爲た譯ではないが、今日學者の教へる所より考へれば斯くなるのである。獨り之は國家社會に於ける狀態であるのみならず、自然界に於ても亦然りである。苟くも生物にして而かしてアメーバの如きもので無いならば必ず此の二つがなければならぬと學者は教へるのであるが我邦の臣民の觀念ほど今日の最も進んだ學者の說く所に一致して居るのである。斯の如く我が國家社會は自らにして組織主の內容を有し居るに拘らず動もすれば組織の缺乏を憂へるのであるが其れは何であるかと云ふに實業界殊に商業界に組織が缺乏し居ると云ふ點である。斯るが故に商業界の主たる可き所謂商業家間に互に嚙合が始まるのである。時計の短針と長針とは各々組織的分擔を爲す所より時計としての完全なる働きが出來るのであるが、若し長針が下に曲り、短針が下に曲つて兩針重り合つたとしたならば時計の運轉は中止せざるを得ないではないか。斯の如き現象が我が商業界にあるのである。勿論他の方面にも此の現象は有るらしいが、商業界殊に外國貿易の方面に往々之有るが故に、其の一個人として見れば其の力量手腕歐米の商人に劣る所なきに拘はらず、全體としての商業は割合に振はぬのである。即ち獨逸的に非らずして、英吉利的であると云ふは、畢竟是れ組織の缺乏に原因するものと見なければ成らぬ事ではありますまいかと專門違ひ乍ら見受けられるのである。

社會本位主義は總民主義であり、組織主義である事、大體以上の如くであるが、我々は今一つの點に比較を取らなければならぬ。歐洲の學者は往々にして獨逸の國家主義を非難する。國家主義…エタチズムなる語源は佛蘭西語に發して居るが併し乍らエタチズムと社會本位主義とは必ずしも同一では無い。國家は一つの社會であるが社會本位主義は今日までに最も發達せる、少なくも今日迄社會が爲し得たる中の最も優れたる一の形式であつて、即ち最も發達せる形式の社會が此の社會本位主義である。然るに國家に關する概念は、社會其のもの、形式の如何を論せず、即ち國社會の動作のみを見、極めて抽象的なる所に其の概念を得んとする嫌ひがないでは無い。若しもエタチズムの國家其れ自身が、必ず常に社會本位主義であるものならば、爰に所謂國家主義は最も完全なる形式と稱す可きである、併し乍ら國家主義なるものは、往々にして社會本位主義より一轉して、右に述ぶるが如き極めて抽象的概念に於けるものと成る。此の場合に於ては、社會本位主義は消滅し乍ら其の存立上、暫く所謂國家主義と手を分たねばならぬ事になる。

而して此の意味に於ける國家主義に對して、世には一種奇妙な主義を唱道する者がある。所謂世界主義是である。世界主義なるものは日本人の新發明であつて、西洋には之を見る事が出來ぬ。此の種の主義者は好んで世界の日本と言ふと聞くが、若し然りとせば世界は日本の所有物である。私は不幸にして世界の日本と稱する言葉の心理狀態を理解する事が出來ない。或はそんな事が理解出來ぬ者は學問の研究を爲すのが甚だ不適任だと言はれるかも知れないが解らぬ事はどうしても解らぬのである。併し之は唯私が二三の人を相手にして言ふのであつて諸君は何等興を起されまいと思ふのである。是等の點は先づ措いて、扨て世界主義とは何を意味する乎此の主義は要するに總て世界と云ふものから割出して來る。即ち世界的見地に立脚して、之を討論し之が經綸を行ふ。例へば日本と云ふもの、經綸は總て世界を本位として計畫し實行しやうとすることが此の主義の本旨であるらしい。此の思想の系統を見れば所謂國家即ち國家機關を一切の本位として社會的經綸を行ふ主義に、反對せんとする所より起り來れる因か有る樣に見受けらるゝのである。此の所謂世界主義と容易に手を握る主義否な寧ろ其の容貌を變じ衣裳を新たにして突然に扮裝して出て來る二つの主義がある。或は人道主義と謂ひ或は文化主義と謂ふか即ち是れである。是等の主義者は何事も人道の爲め文明の爲めと云ふ巧みなる口實の下に之を主張するのである。此の巧妙なる又堂々たる口實に對しては何人も反對が出來ぬ程、頗る好都合なる題目である。人道の爲め文明の爲めと稱するは事頗る結構であつて何等異議を挾む可き餘地が無い。併し乍ら其の所謂人道の爲め、將又文明の爲めとは抑も何を指すのである乎。元來文明は人之を造る可きもので、文明人を造る可きものでは無い。人道に於ける亦然りである即ち所謂世界主義、人道主義、文化主義は、殊更に國家主義に反對せんが爲めに起つた所の、歷史上の理由は有るとしても、理由と道理とは違ふ… 併し之有るが爲めに泥棒して宜いと云ふ事には成らぬのである。即ち理由と道理とは之を嚴密に區別しなければならぬ。或る一方の極端論所謂獨逸流の國家主義が有つたから……かれが爲めに起つたものであるが、爰に所謂世界主義人道主義文化主義が起つたと云ふ事其れのみを以て我々は之を是認するの理由とするには足らぬのである。要するに世界主義は一見甚だ堂々たる頗る好題目を提へ來るものであるが、未だ以て社會本位主義を輕重するには足らない。社會本位主義は總民的であり、組織的である。而して此の內容を有する社會は最も進步せる社會であり、此所まで進める國家は即ち社會本位主義を採る。故に彼の所謂個人本位とせよと命令する主義を採

歸り路

鶴田櫻村

誰（89）

布施生譯

それから二時間後利介は顛太郎に向ひ『おいこりや如何しても見當が狂つて來やがつたんだ。しかし貴樣は何を周章る事は無い、落着いて此家に居れよ』『だつて明日でも此處へ訪ねて來たら』『來るもんかい、吾の情婦が保部へ何に來てみると知つてやしまい』。『だつてそれが知れたら』『知れたら己等は尻に帆をかけるのさ』『だつて先方が訪ねて來るまで樂閑としては居られないぢやないか』『だから己が調べてやるさ』『さうして調べるなあにそりや直接會つて訊ねてみるさ、己れはこれからオロロンへ往く心算だ』… [illegible]

雜誌抄（一）

◇日支兵語集（續）

◎兵器（軍火）◎小銃（步槍）◎機關銃（機關槍）◎大砲（砲）◎連發銃（快槍）◎指揮刀（腰刀）◎旋條銃（鳥槍）◎クルップ砲（鋼砲）◎拳銃（手槍）◎野砲（陸路砲）◎モーゼル銃（毛瑟槍）◎山砲（過山礮）◎同（毛瑟槍）◎臼砲（田雞砲）◎銃劍（槍刀、刺刀）◎速射砲（快砲）◎彈丸（子彈）

實業之日本
□憲用力の修養 社長 增田義一
▲實業教育は軍隊教育に傚へ 佐藤中將
▲渡米小學校長と諸名士と意見交換
□恐るべき米國の戰後施設 堀越善重郎
□（戰爭長者）儲け帳 …素秋生
□大冶鐵山の解剖 瓊川生
□境遇順應論 新渡戶博士
□成金を戒む…男爵 大倉喜八郎
□健康保全…疾病全滅の福音 簡易水こし器械の發明
▲持久十年（奮闘經歷）…碧堂生
□米國金禁輸と財界の影響 正金支配人 鈴木島吉
▲秋に罹り易い病氣と其手當法…醫學博士 堅田
▲（人物月旦）宇都宮氏之系氏…海の鄉人
□人の中にて最も貴い人 浮田博士
十一月一日號 一冊十五錢 郵稅一錢 東京京橋 實業之日本社 振替東京三二六

◎平壤名產＝平壤栗著荷
內外 果實 青物 海產 雜穀 委託問屋
平壤新倉里 吳德泳商店

驚異の安價
博文館
佳書珍本 三百種 部數僅少
臨時 圖書大廉賣
廉賣期限 十月一日から十一月末日迄
特價目錄御申込次第 本館及取次店にて進呈
東京本町 博文館

出版界之偉觀
我か文壇に缺如せる唯一の諷刺文學たる本書は出版界の奇蹟と稱せられ世界的名著と評せらる國寶的文學と嘆美せられて實に需要窮極する所を知らず今回五千部賣切の新レコード
白熱的大歡迎 瀧川玄耳先生著 賣售一旬にして五千部賣切 急遽增刷六七八各版又賣切 十版發賣
日本と世界見物
▲改版新裝ポケット形 ▲上製函入縮寫の美本 ▲紙數一千餘頁 正價金一圓廿五錢 送料金八錢
本書の內容 日本の部 東京見物 大阪見物 京都見物 鎌倉見物 奈良見物 朝鮮見物 世界の部 英國見物 米國見物 獨逸見物 佛國見物 伊國見物 瑞西見物 支那見物
發兌 東京神田錦町一丁目 誠文堂 振替東京二九四番
發賣 京城本町 大阪屋號 電話六八四番 振替二五七三番

釋宗演禪師著
三版出版
碧巖錄講話
碧巖講義類中第一の書
本書の公にせらるや大高評大歡迎を受け初版再版忽ち切賣れ第三版出來
▲附錄 碧巖錄上諸祖の系圖及び傳記を附記し諸則の羅機を活躍せしむ、之れ前代未聞の試にして讀者の參考となり趣味津々たらん求道の士須らく本書を繙け
上下全二卷 洋布製箱入美本 上卷 定價貳圓 下卷 定價貳圓 郵稅各十二錢
發行所 東京神田駿河臺袋町 光融館 振替東京二三一三番 電話本局二九九九番

鑛業講習錄
東京神田區仲猿樂町 大日本道信鑛山學校

時計の安いは村木が一番
米國製十八金片硝子梨地 十七形實石入專賣側 十八金五匁付鎖共 金七拾四圓五拾錢也
瑞西國製十八金片硝子 十六形實石入梨地蓋專側 十八金四匁付鎖共 金六拾貳圓五拾錢也
賣出期限 十月五日より二十日まで 右賣出期限內と雖も賣切れに成る場合有之候へば速に御申越あれ
京城本町二丁目 村木時計店 電話四七一番 振替三一九〇番
地方御注文は代金引替小包便にて

謹告
今般當社管理英國イランスミッキ會社製造に係る香水化粧石鹼白粉其他製品一切の朝鮮に於ける一手販賣權を朝鮮總代理店 京城黃金町三丁目二九一 石川合資會社に委任致候に付此段謹告仕候
大連市山縣通 ブランナーモント會社大連支店

電話開通 參壹貳九番
仕立物 メリヤス 綿足袋 朝鮮一手特約店 クラブ印ゴム足袋
京城北米倉町 吉岡商店

浪速式製麺機 ●天下一品 ●完全無比 ●機械堅牢 ●運轉輕快 ●製麺優良 割引券 各地特約店 大阪梅田新道 浪速商會

一拾石 四千五拾立坪 右賣買ス 詳細ハ拾月九日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府

△藥品營業者に告ぐ▽
藥品賣買
▲溶性サッカリン
サッカリン其他藥品類上値段にて現金にて買入れ可住候 賣物有之候へば封印の上御照會あれ買入値段可申候 見本品封入の事
濱松市下垂町五十一番地 藥品卸商 樂山堂藥舖

大阪 東京 十月限 十一月限 [illegible]

仁川 米 [illegible]

日先小鈍 [illegible]

●支那と經濟同盟

協商兩側の協同提案に對し支那は七日夜滿足の旨を回答し來り同時に獨墺人取締に對しては巴里經濟同盟に加入の必要あるを申出でたり右に就き協商國公使は七日會議を開き協議の結果各本國政府の指示を俟つことゝせり（北京特電）

●對獨方針決定す

支那參戰後に於ける對獨方針に關しては曩きに聯合國側より希望條件を提示し置きしが去る五日支那外交部より大體に於て承認する旨を各國別に通告し來れり依て聯合國側は六日公使團會議を開きたるが猶ほ關稅改正細目に關する具體的案件は上海に於て不日開催すべき關稅改定委員會に於て協議する事とせり北京政府は結局在支獨逸人追放監禁、獨人の無線電信所禁止、獨人通商禁止等の爲め新法を設け取締るに至るべし（北京特電）

●湖南討伐不贊成

直隸派軍人李長泰、王士珍、曹錕氏等は湖南討伐不贊成の決議を爲せり（北京特電）

●藍天蔚逮捕命令

藍天蔚氏は孫逸仙氏の旨を受け劉景雙氏等と共に馬賊と聯合し擾亂を謀りたること發覺し政府は直ちに討伐隊を派遣したるに遁走せり仍て政府は同人の官位を褫奪し逮捕を命ずる旨六日公布されたり（北京特電）

●水害善後新借款

北京政府は天津の水害善後處置として取敢ず熊希齡氏に三十萬兩を交附し同氏を被害地に急派したるも右金額にては尚不足なるより日英佛露の四國より各々四十萬兩、別に査打銀行、白耳義銀行、インター、ナショナル、コーポレーションより各十萬兩づつ借入れ合せて七十萬兩を水害善後借款として交附を受くべく之れが擔保には鹽稅剩餘金を以てする事に決定したり（北京特電）

●フランダース英軍俘虜數

本年初めより九月三十日迄にフランダースに於て英軍の手に收めたる俘虜は五萬一千四百三十三名にして重砲數三百三十二門なり（倫敦電報）

●英飛行機大活躍

羅馬來電＝四日夜多數の飛行機より成る英軍爆擊隊の一隊は大膽にもカッタロの敵海軍根據地上を飛翔したるを以て敵は大に驚き猛烈なる砲火を放ちて應戰せしも右砲火は極めて無照準のものにて何等の効を奏せざりき我が飛行家は海軍根據地に碇泊せる水雷艇に爆彈を投下し顯著なる効果を收めたり（倫敦電報）

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○予は敎育には、何等の大なる實驗を有せず。されど少壯村塾の主となりて以來、今に至る迄、胸中耿々として、未だ一日も此事を遺れたることなし。されば現時の敎育に就ても、其大綱丈は、素人ながら研究しつゝあり。

○概言すれば、當面の急務として、敎育に力を致す可き、二個の要件あり。第一は、日本帝國の國民たる資格の養成也。第二は、之を擴大したる、世界の市民としての資格の養成也。而して此の兩者の間には、至緊、至密の關係ありて、互ひに相補ひ、相扶けつゝあるものと知る可し。

○最も手近く、第一の資格を助成するには、日本歷史の敎授より先なるはなし。國民的資格の敎養は、國史の知識より出で來る也。自國の歷史を知らずして、將た何を以てか、忠君愛國の心を生ぜん哉。但だ憾むらくは、即今日本歷史の、適當なる敎科書の、多く見當らざることを。

○第二は外國語の學習也。日本人は先天的に外國語習得に、不長所なる乎。將た自から恃む所ありて、其の長所を拋擲するを忘りつゝある乎。何れにしても、外國語を學習する者の少きは、やがて日本國民をして、世界の田舍漢たらしめずんばあらず。此の如くして世界の競場に、列强と與に、角逐せんとは、甚だ覺束なき次第ならずや。外國語は、世界的智識寶庫の鍵也。此鍵を手にせずして、徒らに自から世界的强大國たらんとす。是れ下駄履の儘、天上に昇らんとするの類のみ。

●哈市羅紗商取引

露國外國貨物禁輸後の羅紗取引狀況[illegible]取引あり之[illegible]塲は最近內地市に入り然る後黑龍鐵道の便を藉り[illegible]中継山港輸移出入を聞くに重な[illegible]千七百八圓酒三千二十一圓生金[illegible]而及びシーチング一萬六千四百五[illegible]

●佛國飛行機報復

佛國公報に曰く、佛國飛行機は獨逸飛行隊の波羅的襲擊に對する報復として獨逸聯邦バーデン公國に侵入し爆彈を投下したり（巴黎電報）

●秘露の對獨斷交

秘露政府は十月六日同國駐紮獨逸公使に國交斷絕の通牒を送附し同時に同公使に旅券を交附したり（華盛頓電報）

●關屋局長新任

中樞院書記官長は小松綠氏の退官後久しく缺員の儘なりしが八日附左の通り新任の辭令あり（東京特電）

朝鮮總督府學務局長從四位勳三等　關屋貞三郎
任中樞院書記官長（一等）
兼任朝鮮總督府學務局長（二等）

●琿春軍隊引揚

琿春の二個中隊は六日慶源に引揚ぐべし（滿洲特電）

●滿洲領事會議

滿洲駐在の我領事は本省の許諾を得來る十日奉天に於て第一回滿洲領事會議を開く筈なるが出席者は營口、遼陽、鐵嶺、長春、安東、滿洲里、龍井村、掏鹿、通化、吉林、局子街、農安、新民屯、鄭家屯、哈爾賓、齊々哈爾及び奉天の各總領事、領事及び分館主任等合せて十七名外に本省より二名都督府及び北京公使館より各一名出席すべく會期一週間、各出席者より提出せる議案に就きて詳細討論すべく行政統一に關する打合せを主眼とし其の他土地商租問題、東拓營業の如き滿蒙開發上重大の關係あるを以て充分の研究を積み其の根本義を決定すべしと傳へらる尙ほ支那側に於ては此會議の結果に注意を拂ひ張督軍は出席者一同を招待し日支親善に關する意見を交換すべく準備中の模樣なり（奉天）

新任中樞院書記官長
關屋貞三郎氏

●財界漸く繁忙

朝鮮財界も十月末より新穀の出廻り期に入るを以て一層繁忙の度を加ふべきが既に昨今其の準備時期に付各方面共漸く活況の現出を氣構へ居れり尙ほ鮮銀券發行高の如き月末迄には或は五千萬圓を超ゆべしと

●奉天鮮銀擴張

新市街に派出所

朝鮮銀行に於ては奉天新市街が本春來急激なる發達を遂げ新來住者の數を加へ五月以降已に二千餘人に達し銀行、會社、商店等の增加する趨勢に鑑み過般來朝鮮銀行奉天支店新市街にても該派出所開設の議あり該派出所開設希望の多大なるにより都督府に申請中なりし處四日附許可ありたるを以て來る十一月一日より奉天支店新市街派出所を開所する由獨逸家屋は[illegible]商館前東拓會社家屋の向角にて派出所主任は奉天支店の林[illegible]任命さる可し（奉天）

●京畿農具配付近況

京畿道管內に於ける米穀調製具配付狀況を聞くに現在組數五十五、臼の補充廿一個にして大正五年度に於る調製玄米量は四千百十三石なりと

●東拓移民審査

東洋拓殖會社植民課にては既に第八回移民申込の受付を去る九月卅日を以て締切り目下其の審査を執行中なるが承認決定のもの三百戶を超ゆ尙ほ申込み受附總數第一種二種合計一千六百戶を超ゆる由

●九月の朝鮮貿易

貿易額累計一億二千七百六十萬餘圓
著目すべき當月の輸移入貿易の現象

輸移入重要品

輸移入貿易に在りては外國米及び滿洲粟の輸入は米價の低落に伴ひ殊に粟は支那山東省方面凶作の爲め輸入品の同地方へ積戾しを見たるものあり狀況にして共に數月前來減少の趨勢を呈しつゝあり之を前年同月に比するも僅少の增加に過ぎず、棉絲布類は暴落以來著しく入荷を減じ生金巾類に於ては市價の騰貴に依り價額に於て少の增加を見し外各品總計二十五萬八千餘圓を減少し又石油は米油輸送船入港時期の關係上三十八萬餘圓を激減せしに拘らず引き續き各品相場の昂騰とに基き軌條及び同附屬品に十五萬七千餘圓、石炭に十八萬五千餘圓、其の他熟鐵、諸器械、セメント及び爆發物等に各五萬圓內外を增加せしを以て差引前記の增進に了れり、要するに本月の輸移入貿易は各品市價の騰貴せしと並に十月一日以降改定運賃の實行せらるゝ等の事情に依り勢ひ著しき增進を豫想せられしに拘らず僅々五十萬餘圓の增加に過ぎざりしは寧ろ不振の狀勢と稱す可く頗る注目を要す可き現象也（完）

▲事業界殷盛

●國稅調定狀況

京城府に於ける第二期諸稅の調定狀況を聞くに市街地稅は八萬九千九百圓此納稅者內地人二千六百九十四人鮮人一萬七千九百六十五人外國人二百三十三人計二萬八百九十二人に對し十月五日附を以て同日迄に告知書を發行し酒稅一萬六千七百十二圓此納稅者は內地人[illegible]にして內自家用酒の分三百[illegible]人朝鮮酒其の他の分五百九十五人なり右に對し十月一日附を以て告知書を發行したるが聞く所に依れば酒稅にして申告をなさざるもの百餘人に對しては目下檢査中に屬し尙十一月徵收すべき家屋稅は當局に就て整理準備中なるも本月下旬に於ては之が手續を了し十一月一日附を以て告知書發行の見込みなりと

●鮮銀淘汰說無根

最近某方面に於て鮮銀は行員若干の淘汰を行ふべしとの說を流布する者あるが當局の談によれば從來の如く行員を多く要し新たなる採用は行ひつゝある此際淘汰を行ふ如き事は斷じてなしと

●幣原博士出發

文學博士幣原坦氏は八日午前元山に向け出發したり

●廣田外務書記官

外務省通商局第一課長廣田弘毅氏は奉天に於ける滿洲領事會議に列席のため六日夜入京朝鮮ホテルに投じ京城各方面視察中なるが八日夜九時四十分北行列車にて奉天に向ふ

●早大校友會

早稻田大學京城校友會にては七日午後四時より白水にて前評議員寄宮仲藏氏及前幹事中島司氏の送別を兼ね秋季大會開催出席者三十餘名席定まるや幹事より大會開會及び評議員選擧幹事選擧を宜し座長に牧山代議士を押し其の指名に委せんとするや前評議員より後任評議員指名を主張し座長贊成の上川上東拓理事を後任評議員に指名滿場一致にて可決次に座長より幹事長に藤李王職事務官を指名し之れ亦滿場一致にて可決其より送別宴に移り權藤幹事長より送別の辭あり寄宮中島兩氏の謝辭終つて五分間演說あり主客歡を盡して散會せしは午後七時頃なりし

●福井縣觀察團

七日夜入京せる福井縣觀察團一行三十五名は八日京城市內見物の上午後三時三十分より西大門倶樂部に於て朝鮮事情の講話を受け尙ほ[illegible]朝鮮の教育に關する講話を聽けり

百關百種

近來大流行の骨董道樂も時代に依て土地を異にし江戶の金持が今では京阪地方に移つたと見られ▲名品逸品と云ふ素晴しい景色だ▲數日前には價を聞けばピシ〳〵飛んで行く大阪で入札した米穀取引所理事上野旭松庵の割愛品中でも▲徹山の狸一疋が二萬八千六百圓に躍つたり▲硯箱と云つても瑕瑾のある香爐が三萬圓に天上したのは什んな孫が生れたか恐ろしい位▲尙ほ又た常信の中五十鈴川左右松竹三幅對の四萬二千八百圓も記錄破りであるが▲之れは往昔細川越中守が所用の陣羽織で表裝を調へ神前に奉納した物だと云ふ傳來があるので法外の商價に上つたのだそうだが實際法外千萬▲漢江橋が開通して何れも便利を感じて居るが唯一とつ大に困つたものは麻浦にある鮮人の學校である▲何でも渡舟時代に其の利益から維持して居たのだから可愛想にも今度は愈々廢校ときまつたとやら云ふ噂

□漢江橋渡初め

堀內　異水

左は七日夜退京したる堀內兵水隨軍の送別なり
唐人も安けく渡る新橋は我が大君の惠みなりけり

最新刊
北海道中膝栗毛輪講 三田村鳶魚 九五〇
ビスマルク 嶋川 新 一、二〇
國民道德史論 河野 省三 一、三〇
總論最新化學集成 下 野山 水津 四、〇〇
小工業に就て 建築仕様見積解 一、〇〇
式機關商店管理法 芦川忠雄 一、六〇
非敎育者の敎育論 二荒芳忠 一、〇〇
大庭阿公著 定價二圓
露西亞に遊びて
エマアソン論文撰集 戶川秋骨 一、三〇
キングリーヤ ロムバード 一、三〇
無村夢物語 春の部 木村架空 一、二〇
春影小品集 春影 選擧 一、〇〇
西洋草花の作り方 大矢好治 一、二〇
新刷世渡りの道 新渡戶稻造 一、二〇
クロイツェル、ソナタ 廣津和郞 一、五〇
夫人の死 長田幹彥 八五
大阪屋號書店

京日案內
▲滿十歲以上にして普通學校卒業程度の者
▲蓄音器の貸出
▲普通
●裁縫する女至急入用 前通可成入込を望む 京城新町一七 君の江
●配達人至急募集 希望者は本人來談あれ但し市內確實なる要保證人 漢江通郵便局前 寺町田新聞部
●藥劑師備聘したし 希望者來談あれ（姓名在社）677
▲看護婦募集 派出多忙希望者は履歷書送附あれ 大連市若狹町 至誠產婆看護婦會
●番外
當業工業冶金科出身在鮮金屬鑛山に數年實地經驗ある志操堅實四十歲迄強健者雇入又は紹介者を要す委細面談 大和町一 北鮮鑛業所出張所 693
●內地人醫師 ●齒科醫師 一名至急雇入度 希望者は履歷書送附の上給料協定 690
論山 回春病院
木炭先高 金の見込なれ共現在安價開始候 新炭商 高阪出張店 南大門通五丁目御成湯右入半丁 689
女子募集 十四歲より廿五六歲迄 尋常小學校卒業程度の者 龍山 總督府印刷所 680
鑛物定量分析 明治町二丁目（電話二七七一番）支那領事館前通り 田部分析所 686
間合乘自動車 貸切片道 京城 春川 每朝八時發 京城水標橋通 電話二一三八番 京春自動車商會 松田壽男 675
銃砲火藥獵具 京城本町三丁目電話二〇九二番 增戶銃砲店 616
勸業債券買入 東京勸業債券月報社 京城太平通二丁目電話二八三一番 勸業貯蓄會社支部 659
銃砲火藥獵具 京城明治町 電話三〇二 瀧川銃砲店 支店 太田、公州 698

新荷著 懷中時計 腕卷時計 眼鏡 地球 本店京城本町二丁目電話九七二番 イングレッシー商會

浪平板 洋釘 洋鐵鋼 天 福田又京城支店 京城南大門通三丁目 電話二二 振替貯金京城二九二

保 女 著 明治町二丁目八十七番地 支那領事館前通 南質店

白神洋行 鐵材 鋼材 浪板、平板 釘金、洋釘 ペイント、油類一切 コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル 番革、ロープ 機械、工具 附屬品 其他 新田番峯總代理店 京城

賜天覽榮 鬪犬界の歡迎 當る十月十二日より 晴天五日間（午前十時開會） 武士道皷吹 鬪犬大相撲 土佐名物 於東京大相撲場所 京城明治町 勸進元 西田喜三

小鳥獵用 カスミ網（極上絹糸製）其他雁鴨兎網無双網等種々あり 高さ六尺 橫五間 三尺三圍 吉備商會 京城永樂町二丁目 電話二一四番 振替京城四三六番

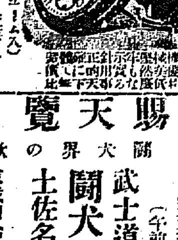
吳服 多合 坂式クリニング クリニング式丸染 一般現形不崩色澤鮮明は我特色 京城府南山町三（電話三一七番）坂洗濯店 印件天專門 洋服丸染は化學應用 京城魚市場前 電話二八五七番 若宮染工場

擴張移轉 明治町二丁目支那領事館前通 鑛物定性 定量 分析 標品發賣 甲一組金七圓・乙一組金四圓・送料三十八錢 田部分析所

京染各種 御誂紋付用 はりゆのし 紋繡上 袈裟 い 各種紋案繪 物一圖式 御刺ぬ衣印 移轉と業務擴張 京城本町二丁目（元寒水堂跡）京屋 電話一四〇一番

最良香油 すき油 びん付 かもじ油 なら香水 八千代油 本舖 東京 井善製 支店 大阪南久寶寺町四丁目 藤森源之助

青年紳士の 外出の前後には血色の美と皮膚衛生の爲め學理上有効の美顏ユーマーを薦む



天氣 晴一時曇り [illegible]

[illegible]所ある實質に於ては[illegible]石の如き[illegible]なり航運杜絶の場合ともならば[illegible]
決して世評の如くならず依然とし取引を重ねつゝある最大の理由はしき寂寥を見る可しと觀測せられ
て手合を繼續しつゝあるが目下一露國人の密輸送に起因する所多くつゝあり(哈爾賓)
口一二三萬留より普通五六千留の小車に松花江舟運に依りて露領地帶

■群山■
▲客月移出 九[illegible]萬[illegible]百圓にして輸移入に在[illegible]ては食鹽一萬九千二百七十圓小麥粉一萬四千四百七十七圓砂糖六[illegible]炭二千圓陶器及び磁器三千二百四十三圓マッチ六千八百七十三圓其他總合計十四萬七千六百十八圓也

●連絡船上陸客 六日午前八時十分釜山入港さくら丸一二等[illegible]

●味噌摺り小僧から洋畫界へ
◆英國で先例なき名譽を荷うた
石橋和訓畫伯――高木背水氏談

在倫敦の油繪畫家石橋和訓氏が今度『ローヤル、インスチチユート、オブ、オイル、ペインター』の會員に推薦せられ日本人として先例なき名譽を荷つた事は七日夕刊所報の通りであるが是について氏と親交ある京城の洋畫家高木背水氏は語る

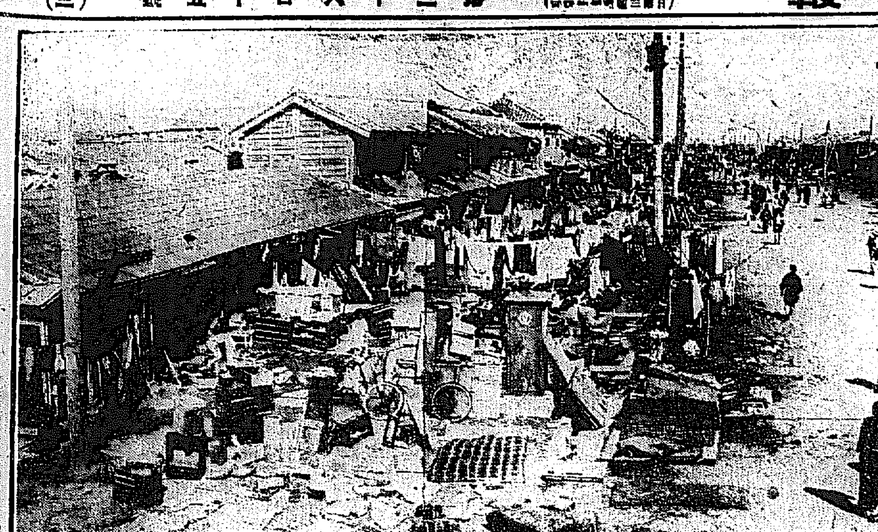
石橋君は出雲名門の出であるが幼さい時京都の或る寺へ小僧にやられた、非常に苦學した人で此の寺に居る間に中等學校の門を潜つたものである、當に志した動機は知らぬが中年の頃

■俄かに還俗 して丹青の道を學んだ、その最初の先生は瀧和亭(故人)といふ日本畫家である石橋君は珍らしい俊才で和亭氏も骨肉の如く愛したものだ、歐洲に渡つたのは明治三十六年の春、その前三十三年の北清事變には

■一年志願兵 として從軍今では豫備中尉である、渡歐の目的は洋畫を學ぶ爲でなく寧ろ歐洲の畫風を見る爲で、先づ英國に渡り次いで佛國に赴いたが、其の中に唯だ漫然と見るばかりでは不可ぬ、何うしても是は自ら筆を執つて研究せねばと

■洋畫の眞髓 は分らぬと思ひ付いたので、再び英國に渡つてケンニントンといふ美術學校に入學した、四十四年の春、私(背水氏)が同校を訪れた時には君は既に同校を去つて、帝國美術學院に入つて居たが此の帝國美術學院は

■大學程度で 嚴格な入學試驗をした上でなければ入れないので、石橋君はその頃英語が未熟だつたので、技術の試驗はトン〳〵拍子に及第したが、學課試驗は通譯を用ひねばならない。是には流石の石橋君も端と當惑したが、何しろ氣輕者の同君、忽ち巧い事を考へた(つゞく)



◆東京洪水の後(月島の慘狀)‖東京支局撮影‖

●仁川神社祭典 盛大に執行

來る十日十一日の兩日執行せらるべき仁川神社秋季祭は十日午後八時より前夜祭を執行し、十一日午前十時公式祭を行ひ續いて神輿渡御式を執行せらるゝ筈殊に本年は最も盛大に執行さるべく當町は種々趣向に就ての打合せを爲し之れが準備に忙殺され居り餘興としては當甚町は大屋臺を造りて北々廠市中を練り歩き境內には相撲及び柔道其他各種の催ふしある由にて近年になき殷賑を呈すべし尚神輿渡御の順路は宮町本通りより本町を經て支那町境より港町に出で松坂町電燈會社を上に廻り花房町を御旅所著其所にて公式祭に準ずる御旅所祭執行次に支那町を經て仲町に入り新町を通り小學校前より敷島町へ直線に進行し宅合名會社構內なる御休憩所に入り更に前路を通りて宮町より還幸の事に決定せり(仁川)

◆ダリヤの庭を前にして
久保京管局長夫人語る

(寫眞は內地へ歸つたやうな氣がしますと)

瑠璃のやうな空が春先を思はせる八日の朝、滿洲から歸られたばかりの久保京管局長夫人を南大門驛前元大屋長官々邸の社宅に訪ねする、夫人は本名を秀子といふ、明治十九年のお生れと伺つたが、嬋娟とした優しい人、一寸見には迚も三十を越した人とは思はれない。

◆『大連は御承知の通り、何處へ行きましても洋館ばかり、まるで西洋にでも居るやうな氣持が致しますが、朝鮮へ參りますと、スッカリ內地へ歸つたやうな感じが致します。滴るやうに蒼々と繁合つた山も懐かしいもの、一つで御座います。

◆途中奉天と五龍背へ一泊致しましたが、至つて元氣で御坐いました』と愼ましやかだが然し快活な口調でお仰やる、寫眞をと云へば『まあ斯んな風采で……』と嬉然しつゝ、大君、坊ちやんと共に玄關の前に起たれる。庭には露を含んだ色とり〴〵のダリヤが咲いて朝の陽の中に美しく微笑んで居た

◆夫人は二男(?)[illegible]四男忠雄(一)と三人のお子さんのお母さまだ

●十三名の支那人強盜

咸鏡南道長津郡々內面岑上里康孝元方に九月二十五日夜旅人の風を裝ひたる支那人十三名泊り込み同夜包丁、斧、棍棒等の兇器を以て家人を負傷せしめたる上衣類其他二十三點(百餘圓)を强奪して逃亡中なりしを同月二十九日平北厚昌郡に於て追跡したる長津分隊の手に悉く逮捕され目下取調中

●折詰から百名の赤痢患者
小學校で開いた懇親會が祟る

和歌山縣東牟婁郡九重村小學校に村民の懇親會を開きたる所折詰の食物に中毒して來會者中約百名赤痢病に罹りたり(和歌山電報)

●中隊長を軍法會議に

神崎川椿事の責任者 ‖夕刊所報‖阪神電鐵大和田、佃停留場の中間神崎川鐵橋にて兵士十八名の渡橋中電車の進行し來りし爲め卒一名即死し他に負傷者數名を出だせる椿事につき步兵第八聯隊の該遭難兵所屬の中隊長木村步兵大尉は軍法會議に附せられたり(大阪電報)

●鐵槌で毆る

本月四日午後十時三十分平壤府南門通り金物商河野秀道方へ大工用鐵槌を所持せる一人の强盜押入り當時奧座敷より店の間に出で來りたる主人秀道の身邊に立寄り所持せる鐵槌を揮つて後頭部を毆打し深さ骨膜に達する重傷を負はし其儘逃走せり被害者秀道は强盜なりと言ひ居れるも金品を强奪したる模樣なく同人は獨身者にして多少の蓄財を爲し居れる模樣なるも平素吝嗇の風評あり何か意趣返しにあらざるやと其筋に於ては嚴重搜査中なり被害者は生命に別狀なし(平壤)

●鑛山を種に

長崎縣南松浦郡福江村生れ平壤櫻町居住の鑛業淺田留吉(三七)は本年二月十日頃既に權利を他に賣却したる鑛山を種に同地旭町の貸金業小野源藏より金二百五十圓を騙取したること發覺して頃日平壤警察署に檢擧されたり

●病院で縊死

龍山元町一丁目恭病院に行旅病者として收容中なる島根縣邑智郡日扳村生れの有田文一(四〇)は五日午前一時頃病

●産婆養成

朝鮮總督府醫院にては本月二十一日より助産婦科の教育開始の由なるを以て入學希望者は來る十五日迄庶務課に申込むべし入學資格は看護婦の資格あるものは無試驗其他のものは試驗の上許可すべしと尚試驗科目は醫院庶務課に就き問合すべく修業期間は一箇年にして內地人は自費朝鮮人は學費を給する由

●五高同窓會

京城在住五高出身草場林太郎、矢鍋篆二郎、三島太郎、權藤四郎介、岡今朝雄、谷多喜磨、中川渡、安倍時太郎諸氏其他の同窓者は十月十日は恰も五高の記念日に相當するを以て同日午後六時料亭千代本に於て同窓會を開催し大に若返りて五高時代の氣焰を擧ぐる由

うわさ

漢江橋が出來て龍山の人の喜んだことは非常なものだが七日の開通式の當日百姓らしい內地人の老人が三人雜沓の中で『今日からこの橋を渡らして貰ひます、ありがたい事で―』と合掌瞑目の上恭しく拜禮してから渡つたのを見たが開橋によつて享ける利便を衷心から感謝したのは彼等ばかりではなかつたらうとはこれを實見した矢野龍山憲兵分隊長の話し▲龍山の有志は當日漢江で捕つた目の下二尺餘りの大鯉三匹を式場で長谷川總督に贈ることにしておいたが▲それを容れるために造つておいた籠が混雜の間に見えなくなつたゝめに遂ひに機を失したのでその肝煎役だつた木谷老人は大に失望してゐる▲當日の人出は確かに十五萬と註せられ京龍空前の雜沓であつたのに拘はらず事故は唯物を遺失したのと迷子が各二件づゝあつたきりで怪我といふ時には有勝の警察官と市民の衝突も絶對になかつた▲この雲霞のやうな群集を管下の憲兵だけで巧みに整理して無事ならしめた龍山分隊員の努力は大したものだつたがそれは憲兵の群集に接する態度がすべて親切と叮嚀であつたからだ▲といふので龍山の有志者は近く分隊員を招待して慰勞の野遊會でも開かうと云てゐる

●仁川弓術大會

既報の如く七日午後一時から仁川[illegible]會館に於て同好者の大弓大會が催された弓鉉の音高く滿を引いて手練を誇る者二十餘名、標的に冴ゆる矢風は靜けき午後の秋空に響いて三點、五點と聲高に呼ぶ得點に陣屋の諸將は胸躍らせた、斯くて午後六時終了、金的を射拔いて最後の得點に一等を占めた者は清田氏其他二等神宮氏三等川井田氏四等宮里氏五等吉田氏六等松永氏等である(仁川)

●記念印押捺

龍山郵便局にては七日第一期治道並に漢江橋竣工記念祝賀會場內に臨時出張所を開設し普通郵便切手類を取扱ひ特殊の記念日付印を押捺し又一錢五厘以上の郵便切手を貼付し差出すときは希望の物件に右記念日付印の押捺を爲せしが當龍山本局に於ては八日、九日、十日の三日間も右同樣記念日付印押捺の需に應ずべし本日付印使用局は龍山郵便局のみの由なれば京龍仁其他漢江關係地方より押捺の希望非常に多く漢江に因みある繪葉書又は紙に此日付印を押捺せば恰好の記念たるべしと

本紙連載小說 怒濤の月劇

寶劇と新劇 義士廼家男女合同團一行の此券御持參の方に限り各等廿錢宛割引

優待券 (二枚に付二人迄共通)(怒濤の月出演中通用)
普通入場料一等七十錢二等[illegible]錢三等三十錢

京城於壽座
京城日報社

光榮ある朝鮮人蔘を召し上れ

一、純朝鮮白蔘
不老不死起死回生の靈藥 精力增進補血强壯

特等	金十五圓
一等	金十二圓
二等	金十圓
三等	金八圓
四等	金六圓
五等	金五圓
六等	金四圓

二、純人蔘精腦
朝鮮人蔘中の主精分を煎出收縮したる純人蔘精腦

十五瓦入	金九十錢
二十五瓦入	金一圓八十錢
三十五瓦入	金二圓四十錢
六十五瓦入	金四圓二十錢
九十五瓦入	金五圓五十錢

三、三ツカシワ人蔘水飴
附屬牛込病院營養品研究部實驗老幼婦女子の老衰病衰貧血疲勞回復の一大强壯滋養品

大罐	金二圓
中罐	金一圓
小罐	金五十錢

四、三ツカシワ風呂人蔘
身體を溫め血液の循環を良好ならしめ病後衰弱又は疲勞を回復し關節の痛み切り傷皮膚の出物等に効能顯著

一回分	金二十五錢
二回分	金五十錢
五回分	金一圓十錢
十回分	金二圓

◎葉書にて御注文あれば即日送品致します
移入稅及送料等は申受けません

製造者 須藤久左衛門

朝鮮京城府長谷川町五十八番地
朝鮮製藥合資會社
電話一三〇九番
振替京城三八一〇番

支店及病院

東京市牛込區白銀町一九
東京支店

下關市丸山町一八九六
下關支店

東京市牛込區矢來町二四
內科、外科、產科、婦人科 附屬 牛込病院
當院にては特に人蔘療養科を設置す
顧問 醫學博士 天谷千松
院長 比企哲夫

櫻御殿

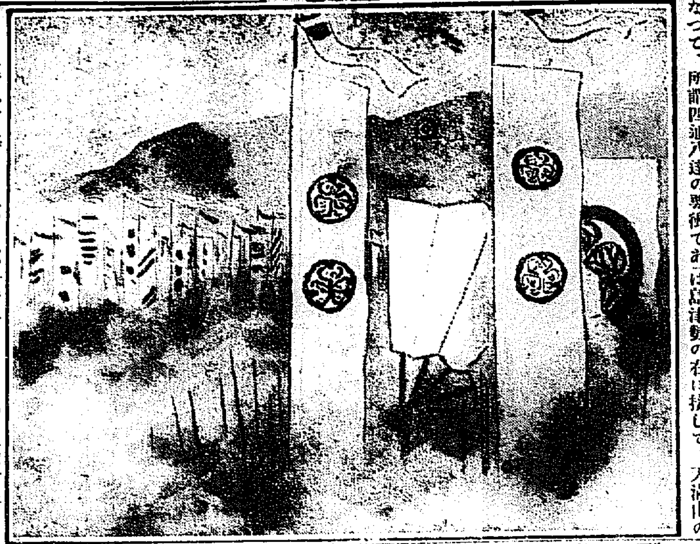
第卅六回 大阪 霞の家主人

關ケ原合戰(七)

關ケ原とは何樣な處か

德川三百年の原を開いた處、太閤秀吉の鴻業が根本から破壊された處、東西十六萬の軍勢が赤い血を流した處、白い骨を曝らした處

之れは昔から不破の關として名高い美濃國不破郡の西端にある中山道の一驛である、今は荒廢して與の形ばかりの寒村になつて居るが、その當時は中山道の要路であると共に牧田路をすると伊勢國に出で、近江路を經て越前へ通ずる要道にもなつて、所謂四通八達の要衝であ



つた、北の方に聳ゆる伊吹の高嶺は江州から來て兩つに岐れる、その間の谷にあるので、三面は山で包まれる、關ケ原と最も近いのが相川山岩手山、宿の西から南へかけて亂い立つのが城山と松尾山、宿の東南に屹立して、秀麗の態を見せて居るのは南宮山である

この山の間に二十町餘の平野がある、西から東へ段々に高くなつて、緩い勾配を持つて居る、平野の間に、相川、寺谷川、關の藤川などの河が流れる、相川の水源の北側に笹尾といふ處あり、その一部を丸山といひ、その側の北國街道に當つて小關村があり、その西に池寺の池があり、その南に天滿山がある、關の藤川はこの山の西南を流れる、それを隔てゝ不破關があり、東南に藤下村があり、南方に松尾山があり、その東北に高地がある。

石田三成の本營はこの小關村にある、こゝは北國街道の咽喉であるから、それを抑へる意味もあるそうして三成自身は笹尾に陣を取つて、右手に織田信高、岸田忠氏の諸將と、秀賴の旗本黄母衣衆を配り、島左近蒲生郷舍とを前手に置いて、弓と鐵砲とをその下に伏せて置いた

島津維新入道はそこから一丁半ほど右の小池村に陣し、小西行長は島津勢の右に接して、天滿山の下に陣取り、宇喜多秀家は天滿山の前に控へ、そうして大谷吉繼の軍は最初山中村の高地に陣取つたが、三成の大軍が小關村に陣を取つたと聞き、更に進んで關の藤川の前に移る

正則と秘密の約束を結んだ小早川秀秋は松尾山に陣を取る、秀秋の擧動がどうも變だと云ふ事は最初から人々の氣に注いて居る、中にも大谷吉繼や宇喜多秀家は油斷のない目をそれへ配つて、いつそ切り殺して了をうかとの相談を起した事もあつたが、何時も機會が無くて中止となる、南宮山には毛利秀元、その南の端の栗原山には長曾我部盛親、同じ關ケ原に長束正家と安國寺惠瓊が控へる、即ち大阪方の陣地は、北の方は相川山の麓から廻つて天滿山を過ぎ、松尾山に至り、更に南宮山の上から關ケ原に及んで居る、この軍勢十萬と稱へられて居るが、實際のところは七萬九千餘、八萬人には足りなかつたであらう

それに對する關東勢の軍容は何うかと云ふとその曉の丑の下刻(即ち今の午前三時頃)から中山道を西に進む、先登は福島正則、これは最初からの約束であり、殊に小早川秀秋との聯絡を取る必要があるから、何人にも代らせることが爲きない、黒田長政は兼て深く家康の愛を受けて居るので、もし正則に惡しなことがあつたら、刺し違へて死ぬる心でこの左を前進する、これで先登は期せずして二縱隊となる、左は正則、右は長政、これに續いて加藤嘉明、藤堂高虎が旗鼓堂々と進發する、家康の四男で、武州忍の城を領して居る松平下野守忠吉が夫となく前軍を統督する心で中央に位置を取る、この後見は井伊直政であつた、南宮山の毛利、長曾我部等の大敵に備へる爲め、本多忠勝は牧田路を堅めて居る

家康は丑の刻(午前二時)に褥を離れて、急に食事を終る、この側に侍つて居たのは、渡邊守綱以下の腹心であつた、家康は生死の大事を前にしながら悠々と箸を取つて『長久手の一戰では、さしもの太閤殿下に泡吹かせた、その事は皆が知つて居るであらう、斯う云ふては何だやが、今日本を見渡したところ、乃公と合戰して勝利を得るものが有るであらうか、殊に野合の戰と來ては、この腕に聊か覺えがある、此の合戰二日とはかゝらぬぞ、見る〳〵間に大勝利を得て見せる』と得意さうに云つて、箸を置くと立ち上つて笠を取つた

天は白々と明けかゝる、南宮山の繁みから出て八方に飛び散る數百の鵄が、今日の運命を知らせ顏にかあ〳〵鳴く

帯あげ 帯しめ 半ゑり 片側帯

京城旭町一丁目 ゑり治商店 電話二五六二番

年期刺繍弟子十五歳位の者募集

新刊紹介

▲日本一(三ノ一〇) 日く『日本一は雜誌界の新聞なり、一家のバイブルなり、高潔なる人格者なり、有らゆる點に於て有益なること、面白いこと、嬉いこと日本一にして總て『日本一』遂に世界一たらずんば已まずと豪語す 二十錢東京牛込神樂阪通南北社

▲電氣旬報(一一四) 五錢大阪北區若松町電界社

▲中外醫藥新報(九一二) 四錢五厘京城南大門通三の二七共社

▲長春貿易協會月報(一〇) 長春東斜街長春貿易協會

用心深い胃弱家

飲んで後に害を殘さぬ、ソレ評判の五大軍醫の合議製薬、胃活を家庭に備へて常用するに限ります

胃腸病專門 長與博士曰

胃は我々の身體の中で最も大切な機關であつて之れを一國に譬へて言へば財政機關であるから十分其健全を計なければならぬ他の身體の機關の病氣に罹るを防ぐにも第一胃を丈夫にして身體の營養を盛んにすることが必要であること併し

胃 腸

藥の撰擇を誤りて若し一時の胸すかし藥を用ふれば必ず失敗する、軍醫の合議製藥『胃活』は實に健胃劑の覇王であつて、此道大家が『現代の世界に知られたる藥品中其比を見ず』と評せられた位であるから、此際少しでも胃が悪いと感じた時は直に『胃活』を用ひ給へ。

◉胃活は五大軍醫の合議製藥也
◉胃活は容量少くも効能大也
◉胃活は流行の口中藥に非ず

胃活定價 壹圓・六拾五錢・拾五錢・貳拾五錢・拾錢
胃活錠定價 貳圓・壹圓・五拾錢・貳拾錢

胃病良藥

買方注意
胃活錠は携帶には至極便利也
胃活錠は飲むに湯水を要せず
胃活錠は旅行宴席等に缺く可からず
藥は必ず思ひ立たる時買玉へ
藥は必らず高きものを買玉へ
藥は病の輕き間に買玉へ

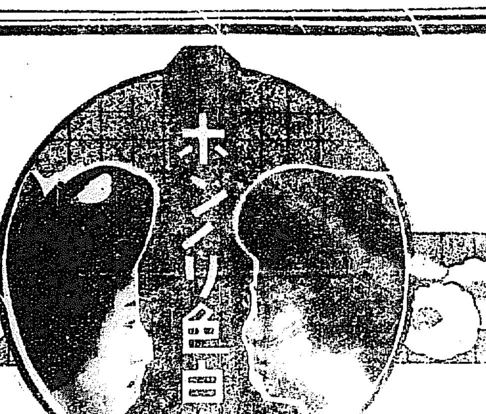
本舖 東京日本橋區本銀町三 電話本局千九十七番 山田安民藥房
發賣元 大阪南久寶寺町堺筋東 電話南二千二百八番 山田安民藥房
●全國各藥店にあり

齒磨を使ふのは
最良の強健法です

なんとなれば、強い齒は強い体を築き上げるからです、
そして強い齒を築き上げるものは、
純良第一の
ライオン齒磨
であります

東京本所區外手町 ライオン齒磨本舗 小林富次郎 支店 大阪 名古屋 (840-6)

高貴 御用



一瓶の効果、

お化粧したやうでなく自然にホンノリ色白くなる

レートフード

▼こうした強い精分で……

新美容素

レートフードには他にない新發見の新美容素が加れてあり、これが皮膚を養ふ強い精分を持て居りますから附けた初はヌルつくやうですが、これは毛孔を開いて肌の根底を整へる作用で、暫く掌で摩擦して居れば滑かに氣持よくなります。

素顏の美

そして、お肌を柔かに色艶をよくし、荒れを止める上、科學的の不思議な作用は自然にホンノリ色を白く致しますから・素化粧料・隱化粧料として實に天下一品で・レートフード一瓶の効果は・よく男女共、氣品のある美くしさを作ります。

東京 平尾贊平商店

商況 大阪期米 [illegible]

大阪三品特電 [illegible]

▲案外伸惱む [illegible]

▲當限の商内 [illegible]

▲仁川現物界 [illegible]